

第2学年2組 国語科学習指導案

平成29年11月17日（火）第2校時

1. 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読もう。

分かりやすくせつめいしよう

2. 教材名「しかけカードの作り方」（光村図書：2年赤とんぼ）

「おもちゃの作り方」（光村図書：2年赤とんぼ）

3. 単元の目標

○進んで説明のしかたの工夫を読み取り、学習したことを生かし、分かりやすく事物の作り方を説明することができる。 【国語への関心・意欲・態度】

○時間や事柄の順序を考えながら文章を読み、分かりやすい説明の工夫を見つけることができる。

【読む能力】

○おもちゃの作り方の説明の内容のまとまりごとにいくつかに分けて配置し、手順に沿って、説明の工夫を用いて文章を書くことができる。 【書く能力】

○順序を表す表現を用いて書くことができる。

【言語についての知識・理解・技能】

4. 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 書く能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|--|---|-------------------|
| 進んで説明のしかたの工夫を読み取り、学習したことを生かし、分かりやすく事物の作り方を説明しようとしている。 | ・時間や事柄の順序を考えながら文章を読み、分かりやすい説明の工夫を見つけようとしている。 ・必要な知識を得るために本や文章を選んで読んでいる。 | おもちゃの作り方の説明の内容のまとまりごとにいくつかに分けて配置し、手順に沿って、説明の工夫を用いて文章を書いている。 | 順序を表す表現を用いて書いている。 |

5. 基盤

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領において、B書くこと(1)イ「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」及びC読むこと(1)イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」をねらいとしている。本単元の教材文は、作り方の作業手順について解説した手順書で、実生活に大変近い文章である。そして、手順を示す場合に、文章だけでなく写真も効果的に使って示されている。また、具体的な長さを挙げてより正確な作業を促したり、何のために必要な工程であるかを説明することで、読み手に確かな作業と理解を促したりする工夫等も示されている。したがって、児童は、叙述に沿って作業を進めながら、書かれていることを理解するという読みの体験とともに、写真から多くの情報を受け取りながら内容を理解するという体験もできると考えられる。本単元は、今後日常生活の中で要求される、「説明的文章を書く」ことへのきっかけとしてよい経験となる。この学習活動を通して、絵や写真を用いながら「しかけカードの作り方」を手順にそって述べる説明の工夫を身につけ、その力を生かして「おもちゃの作り方」の説明書を書くことを言語活動として設定する。言語活動を、1年生に向けておもちゃの説明書をプレゼントす

ることとし、目的意識や相手意識をもって学習に意欲的に取り組むことができるようにしていきたい。

(2) 指導にあたって

本校の研究では、図書館活用教育を通して、児童の情報活用能力を高めることに重点を置いて取り組んでいる。これまで国語では、「いなばの白うさぎ」、「スイミー」、「どうぶつ園のじゅうい」、「お手紙」で並行読書を行ってきた。筆者の他の作品を読み聞かせ等で紹介したり、教室に並行読書のコーナーを設けて休憩時間に自由に読んだりできるようにした。これにより、児童に図書館資料に対する興味関心を高めることができ、朝読書や休み時間等に進んでこれらの本に手を伸ばす子が増えた。また、必要な情報を選び、活用する力を高めるために、説明文の学習では仕事カード作りを行った。生活科では自分たちが捕まえた生き物を飼育するために、名前やえさ、育て方について学校図書館の図鑑を用いて調べ情報カードに書きぬく活動を行った。このように情報活用能力を高めるための活動を学習に取り入れている。そこで、本単元でも並行読書を行い、図書資料を活用した調べ学習を行うことで、情報活用に関する意欲や能力を高めていきたいと考えている。

1. 学習意欲が高まる導入の工夫・・・

言語活動として、おもちゃの作り方を調べ、説明書を1年生にプレゼントする活動を設定

2. 「情報の分類・整理・選択」段階における学習活動の工夫・・・

情報を書き込むための付箋、分かりやすい説明の工夫を確認するためのチェックリスト、ペア活動

第一次では、1年生に作ってもらいたいおもちゃを作り、その説明書を書いてプレゼントするという単元全体の見通しを持つ。単元計画を表にまとめ、確認したり、できあがった説明書の例を示したりすることで、学習活動のゴールをイメージできるようにする。

第二次では、まず、「しかけカード」の〈作り方〉の説明の工夫を見つける活動を行う。五枚の写真の順序を考え、説明カードと組み合わせ得る作業を通して、順序を表す言葉の使い方、写真と文を合わせることに着目させる。手順に沿って「しかけカード」を作っていく。その際、何度も読み返したところ、作り方の順番が分かった言葉、写真を見て分かったところなどに線を引かせる。線を引いたところを発表し合いながら、「順序を表す言葉を使う」、「絵や文を合わせる」、「数字を使う」、「注意することを書く」等、説明の工夫について確かめる。次に、〈作り方〉以外の項目の役割を確認していく。初めの部分、〈ざいりょうとどうぐ〉、〈つかい方〉があってよかったことを話し合わせ、なぜこれらの項目があるのか一つ一つ確認していく活動を通して、理解を深めていきたい。最後に、これまでの学習で見つけた分かりやすい説明の工夫を整理していく。ワークシートに見つけた工夫を書き込んでいき、それがチェックリストの役割を果たせるようにすることで、説明書を書く活動に入ったときに、分かりやすい説明の工夫を手元ですぐに確認できるようにする。

第三次では、おもちゃの説明書作りを行う。様々なおもちゃの中から、作りたいおもちゃを選べるように、図書資料を用意する。児童が作りやすいおもちゃを選んだり、選んだ説明書を元に分かりやすい説明の工夫を盛り込んだりしやすいように、図と三工程程度の少ない文のまとまりで示した資料を提示する。図書コーナーを設け、並行読書に取り組みせることにより、学習への意欲を高め、おもちゃの説明書作りの見当をつけられるようにする。おもちゃを選ぶ時間には図書館司書と連携し、児童の実態に合ったおもちゃを選ぶことができるようにする。指導の際には、まず、学習の見通しを持つために、説明書の見本として教科書に載っている

「けん玉の作り方」を読み、分かりやすい説明の工夫が使われていることを確認する。次に、児童のイメージを明確にするために、実際に選んだおもちゃの説明書を見ながらおもちゃ作りをする。おもちゃ作りは生活科

「おもちゃパーティをしよう」の中で行う。それから、おもちゃ作りを通して、うまくいかないところや何度も読み返したところを中心に、説明を分かりやすくするための工夫を付箋に書いて、コピーした説明書に貼り付けていく。司書教諭と連携し、どこにどのような情報を加えるか、付箋への情報の書き方等、丁寧に指導し、児童が説明文を書く学習を行う際に、すぐに活動に取りかかれるようにしていきたい。また、活動にはチェックリストを用い、付箋を貼り付ける作業や、書いた説明文の見直す時に、すぐに説明の工夫を確認できるようにしたい。説明書を書き上げた後、友だち同士で読み合い、評価し合うことで、達成感や満足感を持たせたい。

本時は選んだおもちゃの説明文の〈作り方〉の内容を、分かりやすい説明の工夫を用いて書く学習である。コピーした説明書に、分かりやすい説明の工夫を付箋で付け足したものを前時まで作成し、それを用いて、作り方の手順を適切な順序で表すことができるようにする。順番や内容のまとまりが分かりやすいように、順序を表す言葉で区切って書くことができるワークシートを用いる。学習は図書館で行い、作ったおもちゃを手元に置かせ、いつでもおもちゃを確認しながら説明文を書くことができるようにしたり、困ったときにすぐに友だちと交流したりできるようにしていきたい。指導の際には司書教諭と連携し、書くことが困難な児童への支援や、説明文を書き終えた子の評価を行っていく。〈作り方〉を書き終わったらペアで読み合い。互いに評価し合う。評価するときには、チェックリストを見ながら具体的に良かったところを話し合わせ、互いに達成感や満足感を高められるようにしていきたい。

6. 単元計画と評価計画

| 次 | 時 | ねらいと学習活動 | 教師の支援 | 評価規準（方法） | | | | |
|----|---|---|--|----------|---|---|---|--|
| | | | | 関 | 読 | 書 | 言 | 評価規準 |
| 一次 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 作ったおもちゃで遊んで楽しかったことを想起させ、「1年生に、おもちゃの作り方をプレゼントしよう」という学習課題を設定する。 「しかけカードの作り方」を読み、「おもちゃの作り方」の説明文を書くまでの学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「おもちゃの作り方」を書くという目的意識をもち、「しかけカードの作り方」の説明のこつを見つけようという意欲をもっている。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 単元を通して意欲的に学習に取り組むことができるように、児童の思いや言葉から学習課題を設定する。 実際にカードを見せ、教材へ興味を持たせる。 | ○ | | | | <p>「おもちゃの作り方」を書くという目的意識をもち、「しかけカードの作り方」の説明のこつを見つけようとしている。</p> <p>（発言・観察）</p> |

| | | | | | | |
|----|-----|--|--|---|---|--|
| 二次 | 2・3 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、作り方の順序を考える。 ・〈作り方〉を読みながら、しかけカードを作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 事柄の順序を捉えつつ、写真と文を対応させながら読むことができる。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・写真の順序を考えさせたり、説明文のカードと組み合わせたりすることで写真の効果について気づくことができるようにする。 ・しかけカードを作るときに何度も読み返したところ、作り方の順番がわかった言葉、写真を見てわかったところなどに線を引かせ、説明の工夫がある部分に注目できるようにする。 | ○ | ○ | 事柄の順序を捉えつつ、写真と文を対応させながら読んでいる （ノート・発言） 順序を表す表現の意味を理解している。 （発言・ノート） |
| | 4・5 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の〈作り方〉の部分で、どんな言葉や表現が説明を分かりやすくしているか考え、分かりやすい説明のしかたを整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> しかけカードを作ったときの体験をもとに、文章を読みながら、説明の工夫を見つけることができる。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用い、前時に線を引いたところを発表し合いながら、「順序を表す言葉を使う」「絵や文を合わせる」「数字を使う」「注意することを書く」等、説明の工夫を表にまとめ整理しやすくする。 | ○ | | しかけカードを作ったときの体験をもとに、文章を読みながら、説明の工夫を見つけている。 （ワークシート、発言） |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材本文で使われていた分かりやすい説明のしかたを見つけ、まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> しかけカードを作ったときの体験をもとに、文章を読みながら、説明の工夫を見つけることができる。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・初めの部分〈ざいりょうとどうぐ〉、〈つかい方〉があつてよかったところを話し合わせ、その役割について理解を深められるようにする。 ・説明の工夫を確認しやすくするために、ワークシートにまとめチェックリストを作成する。 | ○ | | おもちゃの作り方の説明を書く学習に意欲をもって取り組んでいる。 （ワークシート・発言） |

| | | | | | | | |
|--------|--------|---|---|---|---|---|--|
| 三 次 | 7 | <p>・1年生に作ってほしいおもちゃを本で調べる。</p> <div data-bbox="252 188 671 349" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>複数の資料の中から、1年生に作ってもらいたいおもちゃを選ぶことができる。</p> </div> | <p>・複数の資料から選択できるように予め図書を用意しておく。（図書館司書）</p> <p>・1年生が作ることを想定したおもちゃを選べるように、材料が用意しやすいことや簡単に作れることなどのポイントを見童に考えさせる。</p> | ○ | | | <p>複数の資料の中から、1年生に作ってもらいたいおもちゃを選ぶことができる。</p> <p>（発言・観察）</p> |
| | 8 | <p>分かりやすい説明書の例として教科書に載っている「けん玉の作り方」を読んで、わかりやすい説明の工夫がどのように使われているかを確認める。</p> <div data-bbox="252 824 671 1043" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「けん玉の作り方」を読み、分かりやすい説明のしかたがどのように使われているかを確認めることができる。</p> </div> | <p>・分かりやすい説明の工夫を見つけやすくするために、チェックリストを掲示する。</p> | ○ | | | <p>「けん玉の作り方」を読み、分かりやすい説明のしかたがどのように使われているか、チェックリストを用いて確かめている。（発言・チェックリスト）</p> |
| 三 次 | 9 | <p>おもちゃの説明書に情報を付け加える。</p> <div data-bbox="252 1160 671 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分かりやすい説明書をつくるために、チェックリストを元にして本に書いてある説明に情報を付け加えることができる。</p> </div> | <p>・説明の工夫をすぐに確認できるように、チェックリストを用意させる。</p> <p>・必要な情報は付箋に書かせ、説明書に貼れるようにし、作業の効率化を図る。</p> <p>・付箋への書き方の例を示し、活動への見通しを持たせる。（司書教諭）</p> | | ○ | ○ | <p>分かりやすい説明書をつくるために、チェックリストを元にして、本に書いてある説明に情報を付け加えている。（付箋・コピーした説明書）</p> |
| | 1 0 | <p>説明書の図を書く。</p> <div data-bbox="252 1641 671 1861" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おもちゃの説明書や自分が作ったおもちゃを見ながら、工程に沿った図を書くことができる。</p> </div> | <p>・説明に必要な図を書くことができるように、予め何の図が必要か考えさせる。</p> <p>・図を書く時のポイントを示し、情報を整理することができるようにする。（司書教諭）</p> | | ○ | | <p>おもちゃの説明書や自分が作ったおもちゃを見ながら、工程に沿った図を書いている。</p> <p>（ワークシート）</p> |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|---|---|
| 1 1 本時 | <p>〈作り方〉の説明を書く。</p> <p>絵と対応させて適切な順序で説明文を書くことができる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・手順に沿った内容のまとまりを意識して書くことができるように、段落ごとに区切りを入れたワークシートを用意する。 ・図と文が対応しているか確認しながら書き進められるように、例を示す。(司書教諭) ・チェックリストで確認しながらペアで説明書を読ませ、具体的に良いところを評価できるようにする。 | | | ○ | <p>絵と対応させて適切な順序で説明文を書いている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p> |
| 1 2 | <p>説明書を完成させる。</p> <p>分かりやすい説明のしかたを使いながら、まとまりや順序を考えて、おもちゃの作り方を書くことができる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・初めの部分、〈ざいりようどうぐ〉〈作り方〉〈遊び方〉ごとに色を変えた短冊カードを用意し、まとまりを意識して内容を整理することができるようにする。 | | | ○ | <p>分かりやすい説明のしかたを使いながら、まとまりや順序を考えて、おもちゃの作り方を書いている。</p> <p>(おもちゃの説明書)</p> |

6. 本時の学習 (11/12時間)

(1) 本時のねらい

○分かりやすさに気をつけて、適切な順序で説明を書くことができる。(書く能力)

(2) 本時の展開

| 時 | ○学習活動と・児童の反応 | ○教師と◎司書教諭の支援と★評価 |
|------------|---|---|
| 導入 5分 | <p>○前時までの学習を振り返り学習課題を確認する。</p> <p>分かりやすい〈作り方〉を書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、次にみたいな順番を表す言葉が必要でした。 ・何cmや何個みたいに数字を入れるといいです。 ・同じ作り方は「同じように」と書くといいです。 ・言葉で説明するのが難しいところは「図のように」とすればいいです。 | <p>○分かりやすい説明の工夫を確認した後、拡大して掲示し、どのような工夫があったか思い出せるようにする。</p> <p>○本時の学習の流れを掲示し、見通しをもって学習に臨むことができるようにする。</p> <p>◎図と文が対応しているか確認しながら書き進められるように、例を示す。(司書教諭)</p> |
| 展開① 25分 | <p>○作り方の説明を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まず」は①、「次に」は②のところを書けばいいな。 ・ここには長さのことを書くといいかな。 ・この絵に合う説明は、最初からどこまでの説明を書けばいいのかな。 ・どこでくっつけたらいいか分かりづらかったから、 | <p>○作り方を、順序良く適切なまとまりで書くことができるようにワークシートに書かせる。</p> <p>○分かりやすい説明の工夫を手元で確認できるように、チェックリストを用意させる。</p> <p>○おもちゃの説明書やおもちゃもすぐに手に取ることができるように、机の上に置かせる。</p> |

| | | |
|-----------|--|---|
| | 「図に書いてある印のところにはります。」と書こう。 | <p>◎書き方の分からない児童には、最初に何をするのか、次に何をするのか問いかけ、書くことが思いつくようにする。</p> <p>○早くできた子はチェックリストを確認しながら見直しをさせたり、書き方の分からない児童の手助けをさせたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★分かりやすい説明の工夫を使って、適切な順序で説明を書いている。【書】(ワークシート)</p> </div> |
| 展開② 5分 | <p>○説明文を友だちと読み合い、書き方の良かったところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文が合っていて分かりやすかったです。 ・詳しく書いてあって良かったです。 ・本の説明書より言葉が簡単でした。 | <p>○活動に入る前に、書き方の良かったところを、チェックリストを見ながら具体的に見つるように指示する。</p> <p>○ペアで良かったところを伝え合う。間違いや説明不足に気がついたところは助言もさせる。</p> <p>○全体で紹介し、互いに頑張りを認め合えるよい雰囲気になるようにする。</p> |
| まとめ 5分 | ○学習を振り返り、次時の活動を確認する。 | ○次回はワークシートに書いた説明を清書することを伝え、次時への意欲を高める。 |

(3) 本時の評価規準

| 評価の観点 | ◎十分満足できる | ○おおむね満足できる | 支援を必要とする場合の手立て |
|-------|--|-------------------------|---------------------------------------|
| 書くこと | 絵と対応させて適切な順序で説明文を書き、友だちの説明の良いところを見つけたり助言したりしている。 | 絵と対応させて適切な順序で説明文を書いている。 | 説明書に足りない工夫や説明文の順序の表し方について問いかけながら助言する。 |

(4) 視点

- ・図書館資料を精選し、工程が図と少ない文のまとまりで示した説明書を用いたことは、児童が分かりやすい説明文を書くための参考資料として有効であったか。
- ・読み取った工夫をチェックリストにしたことは、分かりやすい説明の工夫を読み取って自分の説明に生かして書くために有効であったか。
- ・本時で用いたワークシートは適切な順序で書くために有効であったか。